





議長室から

し、未来に平和を築き上げるために据えた憲法9条が、戦後の日本の平和に貢献して来たことはまぎれもない事実でした。しかし、近隣国や世界情勢がこの70年余の間に大きく変化し、いま憲法9条の存在が大

## 二つの8月15日

総会議長 立山忠浩

日本国にとって特別な意味をもつ月を迎えました。71年を経た今年も、広島、長崎に原爆が投下された悲劇を忘れることはできません。そしてアジアの国々の人々に甚大な苦悩を与え、国民自身にも苦難を強いた戦争が終わった8月15日を覚える時だからです。

この過去の過ちを反省

きく揺り動かされていきます。現政権による憲法9条改正の動きが顕著だからです。昨年の集団的自衛権の行使を可能にする安全保障関連法も、憲法改正の動きを後押ししていることは確かです。

この方針は今後も堅持されて行くことになりま

ただ、この世に関することは政治的見解も含め、教会の判断であっても絶対的なものはありませんので、異なる意見にも耳を傾けながら、その都度判断する姿勢を大切にしながら

にたならぬものを感じました。

先に避難するようにと父に言われ、私は妹を連れて避難場所になっていた池上本門寺に向かいました。焼夷弾により、あちこちで火の手が上る中、妹を庇い励ましながら夢中で歩きましたが、その道のなんと遠かったことでしょう。坂道を登り丘の上の避難場所にたどり着いてふり返ると、私たちが通ってきた道も含めて街全体が火の海になっていました。激しく燃えている街にB29はそれでもまだ焼夷弾を落としていきま

最後

は、最後の判断の根拠となるのは聖書の言葉、このにも主イエス・キリストの教えであるというところです。これが宗教改革の精神に立つ私たちルター派教会の、決して揺るがしてはいけない点です。さらに8月15日にはも

う一つの意味があることを覚えなければなりません。日本にキリスト教を初めて伝えたイエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルが、鹿児島を踏んだのがこの日なのです。宗教改革のうねりに危機感をもったカトリックの修道士たちが力を入れたのが海外宣教でしたが、私たち日本のルーテル教会にとっての意味あることと理解しなければなりません。

終戦の日

にまつわることが、もともと主イエスの平和の福音の中に置かれていたのです。私たちの判断もその教えに導かれるのです。

宮本 新

（田園調布教会牧師、日本ルーテル神学校講師）

私たちはグローバル時代を生きています。ヒト・モノ・コトバが行き交う広がりだけでなく、それはローカルな生活者の個々の暮らしにも深く浸

とぼろぼろはがれましたが中身は無傷で残っていました。何故、聖書だけがあのような状況の中でと考えると本当に奇蹟としか言いようのない出来事でした。

戦災ですべてを失った私

たちには何年もの間、思い出したくないような貧しい不自由な日が続きました。でも神様はどんな時にも私たちと共にいて慰め、励まし、支えていてくださったことを今しみじみと感じています。そして焼け跡に残っていた母の聖書は、神様の深い愛を私たちに教えているような気がします。

透しています。

かつて世俗化を熱心に論じた神学者ハーヴィ・コックスは近年のグローバル市場にひそむ宗教的世界観に警鐘を鳴らしています。今日のグローバル市場は誰かれのものではなく、「人間の支配を越えた力」と見なされ、「個人としてあるいは国家として、私たちがなすべきことはそれに頭を垂れることしかない。その要求は問答無用なのだ」と一見、神学とは無関係な世界で擬似神学的な様相が見られることを指摘しました。

文化が宗教を生み出すのか、宗教が文化を形成するのか、古くて新しい問いがここにもあるし、主イエスが教えた「マモン（富）の誘惑は生々しい（ルカ16・13）。一体、世界大に広がる貧困や社会的公正といった問題に取り組み、軌道修正を待たず倫理的基盤が人類にあるのだろうか。これも公共論が宗教問題に行き着く道筋のひとつです。

コックスに呼応して社会学者ロバート・ベラーはこんなことを言っています。「真に地球規模での連帯の感覚を強化して一般化する能力が宗教にあるのであれば、それは自己批判において、自己批判を通してのみなしう

る」。

ベラーは、グローバル市場における倫理問題、環境問題や紛争問題には人類共通の分かち合える共通善の感覚が必要だと主張します。この場合の宗教とは端的に世界の問題であると同時に世界の解決にもなるものです。社会学者の知性は人間の食欲と自己の絶対化へとまなざしを向けているかのようです。グローバルな統治と連帯にはある「宗教的な動機」が必要だと明言します。しかしそれはどんな動機でしょうか。そしてキリスト者はなんと応えることができるでしょうか。

ルターは地上の三領域（政治、経済、教会）を分けて考える一歩を踏み出しました。それは世界の根源に「神の言葉」を位置づけ、「み言葉に聞く」ことに固有の場と役割を見出したからでした。それと同時に「神の言葉」が他（政治・経済）と分離されもしないことにも気付いていました。不可同にして不可分。この世界で教会はどんな根源語を聞いていけるでしょうか。



竹村陽子（藤ヶ丘教会）

ある時、本棚の奥から1冊の古びた聖書が出てきました。大切にしまっておいた母の遺品です。文語で書かれた聖書を懐かしく眺めながら、ふと、この聖書にまつわる不思議な出来事を思い出しました。

1945年4月15日の夜

東京の蒲田でB29の爆撃を受けた時のことです。その夜もいつものように空襲警報のサイレンで庭の防空壕に入りましたが、同時に頭の上には編隊で飛んでいるB29の重く押しつけるような爆音がきこえ、ヒューと爆弾の落ちてくる音、そして突き上げられるような地響き

日本福音ルーテル教会の基本方針はこれまで、総会での声明文（2006年）や社会委員会の見解（2014年、2015年）などで表明して来たように、憲法9条の改正の動きに反対し、危惧する立場に立っています。

しかしながら、その際に忘れてはならないこと

ければなりません。また、ルーテル教会に属する個々の信徒の判断は自由なものであり、日本福音ルーテル教会の基本方針は強制されるものではありません。

目をした時、両親は逃げ遅れたのではないかと不安になりました。

避難した所も安全ではなく、焼夷弾の直撃を受けて大きな本堂は火柱となつて勢いよく燃え上がっていました。百段程ある石段の両側の大木も根元に焼夷弾が突き刺さつて燃えているのが見えました。そこで止まった方もいたそうです。大勢の人が右往左往している中、駆け寄ってきた母を見てやつと緊張がほぐれました。その後、父とも思い家族は無事であったことを喜びました。

翌朝、街は見渡す限り焼け野原になっていました。様子をみてくると出かける父について私も焼け跡に足を踏み入れました。目印がなく方角すらわからない焼け跡の道から靴底を通して熱が伝わってきました。何とか家のあった場所を探しましたが、2人とも言葉もなくただ瓦礫の上に立ち尽くしてしまいました。

防空壕も崩れ落ちて中のものは燃え尽きて何一つ残っていませんでした。しかし母の聖書だけが表紙は黒くげになり、触る



### ③ グローバル・チャレンジ

グローバル・チャレンジ

宮本 新

（田園調布教会牧師、日本ルーテル神学校講師）

私たちはグローバル時代を生きています。ヒト・モノ・コトバが行き交う広がりだけでなく、それはローカルな生活者の個々の暮らしにも深く浸

とぼろぼろはがれましたが中身は無傷で残っていました。何故、聖書だけがあのような状況の中でと考えると本当に奇蹟としか言いようのない出来事でした。

戦災ですべてを失った私

たちには何年もの間、思い出したくないような貧しい不自由な日が続きました。でも神様はどんな時にも私たちと共にいて慰め、励まし、支えていてくださったことを今しみじみと感じています。そして焼け跡に残っていた母の聖書は、神様の深い愛を私たちに教えているような気がします。

透しています。

かつて世俗化を熱心に論じた神学者ハーヴィ・コックスは近年のグローバル市場にひそむ宗教的世界観に警鐘を鳴らしています。今日のグローバル市場は誰かれのものではなく、「人間の支配を越えた力」と見なされ、「個人としてあるいは国家として、私たちがなすべきことはそれに頭を垂れることしかない。その要求は問答無用なのだ」と一見、神学とは無関係な世界で擬似神学的な様相が見られることを指摘しました。

文化が宗教を生み出すのか、宗教が文化を形成するのか、古くて新しい問いがここにもあるし、主イエスが教えた「マモン（富）の誘惑は生々しい（ルカ16・13）。一体、世界大に広がる貧困や社会的公正といった問題に取り組み、軌道修正を待たず倫理的基盤が人類にあるのだろうか。これも公共論が宗教問題に行き着く道筋のひとつです。

コックスに呼応して社会学者ロバート・ベラーはこんなことを言っています。「真に地球規模での連帯の感覚を強化して一般化する能力が宗教にあるのであれば、それは自己批判において、自己批判を通してのみなしう

る」。

ベラーは、グローバル市場における倫理問題、環境問題や紛争問題には人類共通の分かち合える共通善の感覚が必要だと主張します。この場合の宗教とは端的に世界の問題であると同時に世界の解決にもなるものです。社会学者の知性は人間の食欲と自己の絶対化へとまなざしを向けているかのようです。グローバルな統治と連帯にはある「宗教的な動機」が必要だと明言します。しかしそれはどんな動機でしょうか。そしてキリスト者はなんと応えることができるでしょうか。

ルターは地上の三領域（政治、経済、教会）を分けて考える一歩を踏み出しました。それは世界の根源に「神の言葉」を位置づけ、「み言葉に聞く」ことに固有の場と役割を見出したからでした。それと同時に「神の言葉」が他（政治・経済）と分離されもしないことにも気付いていました。不可同にして不可分。この世界で教会はどんな根源語を聞いていけるでしょうか。





## 宗教改革500年に向けて ルターの意義を改めて考える

(新シリーズ4・通算51)

ルター研究所長 鈴木 浩

ルターはエルフルト大  
学でこの「ヴィア・モデル  
ナ」の学風に馴染んだ。

「ヴィア・モデルナ」を代  
表した人物の二人が、イン  
グランドのフランシスコ会  
士、オッカムのウィリアム  
であった。ルターの時代に  
は、オッカム主義の代表的  
な神学者にガブリエル・

ビールという人物がいた。  
ルターはオッカム主義  
の義認論……どうしたら  
人は救われることができる  
のかという問い……をガ  
ブリエル・ビールの著作か  
ら学ぶ。要するに、「救わ  
れるためには、人は何をし



William of Ockham, stained glass at a church in Surrey.

オッカム主  
義の義認論は  
ここで絶妙な  
説明をした。  
「金貨と鉛の貨  
幣」のたとえ  
である。金貨  
は額面と金貨

自体の価値が等価である。  
(紙幣ではなおそうだが)  
鉛のコインは、額面とコイ  
ン自体の価値には大きな  
違いがある。しかし、鉛の  
コインが額面通りに流通  
するのは、通貨発行当局に  
対する信用があるからで  
ある。

同様に、神はどんなに  
小さな働きでも、それを義  
認にふさわしいと認める  
「契約」を恵みによって人  
間と結んでくれた。だから  
それを果たせば、人間は  
神の救いに与る。こうして  
オッカム主義の義認論は、  
ペラギウス主義の嫌疑を  
見事にすり抜ける。ルター  
の立ち位置も最初はこの  
にあった。

**ルーテルアワー**  
biblestudy.jp  
「ルーテルアワー」のサイト  
【**てあなの部屋**】より  
⑦あなたの記念も思いも  
全て抱きしめて  
詩編90編  
伊藤早奈

詩編に「人の子よ、帰  
れ」(詩編90・3)と語  
られています。私たち  
どこに帰ればいいのか  
でしょうか?

8月15日に終戦の日を  
迎えます。生まれた国や  
時代によってその意味に  
変化があるかもしれませ  
んが、一般的に日本国内  
では「終戦記念日」とし



### ⑩詩編を歌う

悩みの中より  
われは呼ばれる  
(教会讃美歌300番)

ルターは修道士の時  
代、修道院の、主日を除  
く毎日7回の祈りの時に  
詩編をあるいは歌い、あ  
るいは祈って、その15  
0編全部を毎週唱えてい  
たという。

聖書教授になって最初  
の講義も詩編だったが、  
その途中で、裁きではな  
く、恵みとしての「神  
の義の福音の発見」をし  
たと思われる。だからそ  
れ以後、講義でも、信仰

著作でも詩編を取り上げ  
ることが多かった。

しかし詩編を基にした  
ルターの讃美歌は意外に  
少ない。直接詩編に基づ  
く讃美歌は7編に過ぎな  
い。詩編150編を讃美  
歌にし、これだけを会衆  
に斉唱させ、会衆の願い  
があっても合唱は歌詞で  
はなく、音楽に気を奪わ  
れるからという理由で許  
さなかった、ジュネーヴ  
のカルヴァンとは対照的  
だったように思われる。

戦後すぐ、当時の神学  
校教会が羽村で出張伝道  
を始めた頃、14歳で初め  
てキリスト教に接した私  
は、ルターの讃美歌と聞

いて、なぜか「貴きみ神  
よ、悩みの淵より」とい  
う古い歌詞も、慣れない  
メロディーも全曲暗記し  
た記憶がある。導かれて  
ルターから生涯学び続け  
ることになった不思議な  
始まりである。

讃美歌を整え始めた初  
期、1525年にこの讃  
美歌を作詞作曲したと  
き、ルターは自らが恵み  
の神を求めて葛藤した  
日々と、キリストにおけ  
る恵みの発見とを心に思  
い浮かべていたことだろ  
う。

1724年バッハはコ  
ラールカンタータのシ  
リーズの一つとして、  
聖霊降臨後第22主日に  
の、どちらの私も大切に  
してくださる神様のとこ  
ろなのです。

うためにと残されていま  
す。もちろん記念として  
一人一人が覚え残して行  
くことも大切です。でも  
一つは、数年前ベルリン  
に行った時、ベルリンの  
壁跡の前で肩を組んで笑  
顔で記念写真を撮る子ど  
もたちと、その横に、壁  
のあった当時、壁を越え  
ようとして命を落とされ  
た人のために立てられて  
いた白い十字架の風景で  
す。不思議とこの二つの  
ことが同時に思い出され  
たのです。何故でしょう  
か。

原爆ドームもベルリン  
の壁も記念です。後世の  
人々にも覚えていてもら  
うためにと残されていま  
す。もちろん記念として  
一人一人が覚え残して行  
くことも大切です。でも  
一つは、数年前ベルリン  
に行った時、ベルリンの  
壁跡の前で肩を組んで笑  
顔で記念写真を撮る子ど  
もたちと、その横に、壁  
のあった当時、壁を越え  
ようとして命を落とされ  
た人のために立てられて  
いた白い十字架の風景で  
す。不思議とこの二つの  
ことが同時に思い出され  
たのです。何故でしょう  
か。

「思い」や「感情」は  
見えず、言葉にしないと  
わかってもらえないじゃ  
ないか、と思われるかも  
しれません。神様はわ  
かっていません。例えあな  
た自身がわかっていない  
思いがあったとしても、  
神様はあなたの全てをわ  
かっています。それは間違  
なく、あなたが神様に造  
られた大切な存在だから  
です。



### 公告

この度左記の行為を致しま  
すので、宗教学法人法第23条  
の規定に基づき公告致しま  
す。

2016年8月15日

宗教学法人  
日本福音ルーテル教会  
代表役員 立山忠浩  
信徒利害関係人 各位

東京池袋教会牧師館新築  
所在地 東京都豊島区池  
袋3丁目1633番地  
1  
家屋番号 1633番1  
の3  
種類 教職舎  
・構造 木造スレートぶき  
2階建  
・面積 1階 43.06㎡  
2階 46.37㎡

### 第27回総会期 第1回常議員会報告

事務局長 白川道生

第27回総会期の第1回常議員会が、6月13日から15日にかけて市ヶ谷センターにて開催されました。去る5月の全国総会にて選出された第27回総会期常議員による最初の常議員会です。まず、3期連続で総会議長に選出された立山浩浩議長は、重点的な課題を抽出した「第27回総会期常議員会基本方針」を提示し、来る2年間に向かう基本姿勢を表明されました。

2012年から推進している第6次総合方策の中

### ルーテル世界連盟(LWF)理事会と記念植樹@ヴィッテンベルク

世界宣教師主事 浅野直樹

2011年シュトゥット

ガルトでの総会が、LWF理事としての私の初仕事だった。以後毎年6月に理事会が開かれてきた。来年開催の総会直前の理事会を除けば、いよいよ今回が最後となった。そういう意味でも感慨深かったが、宗教改革500年記念の時期とも重なったため、ヴィッテンベルクで開催されたという

ら、優先すべき課題である事柄を、三つに絞り込み、特に、この4年間で取り組んできた課題の現状分析を述べました。同時に、2年後の次期総会での提案を射程に、取り組むべき事柄として、教職給与の在り方、収益事業建物の老朽化対策、るうてる法人会連合の理念協

議と教会規則の整備を挙げられました。

また、2017年に向けて宗教改革500年記念事業の概要計画がほぼ決定したので、積極的な担い手を募りながら、宣教の好機と受けとめ、意味ある時にしてゆこうと、全国に向けた期待が語られました。主な協議事項については以下の通りです。

### ▼諸活動、委員会報告 審議事項

本年2月以降の3役各教区、教会事務局各室及び諸委員会、関係諸団体、等の活動について各々報告がなされ、協議の後に、承認されました。

続いて審議事項では、学校法人並びに福祉法人に対する教会推薦理事の決定、人事(事務局長関係含む)、教会建物の新築に関する申請、幼稚園の土地使用に関する申請等の案件が協議されました。

▼諸委員任命と委員会の組織  
総会選出の常置委員に加えて、常議員会で選出する7つの常設委員と、その他諸委員が選任されました。およそ総勢12

0名ほどの各委員となりますが、これによって宣教を推進するために、具体的作業に取り組むJELCの態勢が組織されました。

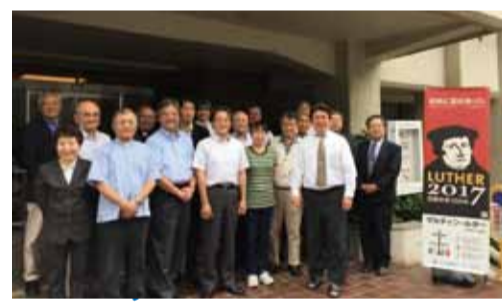
### ▼熊本地震に関して

会議3日目は、熊本地震への対応を集中的に協議しました。熊本地域の被災状況では、生活への影響と支援活動の報告に加えて、教会、学校、幼稚園保育園、社会福祉を合わせたルーテルグループで、15億円規模の建物被害が出ている状況が報告されました。

東日本大震災の経験を通して決議された、JELCの災害時における活動基本方針を抑えながら、連帯献金の展開、教会建

物の修繕補修資金確保、土地建物回転資金の特別適応など、今後の対応方針を確認しました。九州教区長からは引き続き、全国での祈りと支援の要請が呼び掛けられました。

詳細は、教会宛に送付される議事録をお読みください。



### 女性会連盟 東日本大震災被災地訪問

柳井悦子(女性会連盟役員)

去る6月21日〜23日、教区女性会会長、連盟役員と共に野口勝彦牧師(元ルーテル教会救援派遣牧師/長野・松本)、小勝奈保子牧師(女性会連盟担当/聖パウロ)の案内にて東北の被災地を訪問しました。

参加者の多くは2度目の訪問で復興の様子も解りやすい中、私は初めての現地訪問であり、復興の様子を報道される映像でのみ理解していたために、実際の様子との違いに愕然としました。土の盛りられた、またある所はコンクリートで築かれた巨大な防潮堤、海の景色や様子は全く見え、肝心の避難道は築かれている所もありますが、そのための工事なのかダンブカーなどが往来している状況に、未だ課題や問題があることを思いました。

植えられている。今回の理事会の折、カナダルーテル教会とJELCが植樹した。木の学名は「Sotrasaria Magnifica」というナナカマドの一種。登録番号は87番だった。このあと各教会が自国にも植樹して企画は完成する。ヴィッテンベルク訪問の際はぜひ立ち寄りてみていただきたい。



んが私たちを強めてくださったお陰です」というお言葉に、また励まし支え合い、困難な中にあっても押し潰されることなく生きておられる強さに触れました。そして現在の状況に心えておられるルーテル教会の長期にわたつての支えを感じ、今後、私たちは何をなさなければならぬのかを深く考えさせられています。明確な答えは出てこないかもしれませんが、側面的であり、熊本も未だ余震の続く状況ですが、この震災の被害を忘れることなく、祈り続けていくことが現在の私たちの働きの中心であることを心に留めていかなければならないです。この祈りに実りの時が与えられることを信じています。

門脇小や大川小にもまいました。筆古に尽くし難いのが実情です。被災された皆様の励まし合い、支え合いを覚えつつ、被災された方々のために日々共に祈っていきたく思います。現地でお世話になりました斎藤さんご夫妻、西條さまに、心から感謝申し上げます。



### 日本福音ルーテル教会 教師試験実施のお知らせ

2016年度「日本福音ルーテル教会教師試験」を左記要領にて実施いたします。教師志願者は左記書類を整え、教会事務局にご提出ください。ますよう、お知らせします。

### 記

1. 提出書類
  - 1 教師志願書
  - 2 志願理由書(テーマ「なぜ『日本福音ルーテル教会の教師』を志願するのか」あなたが考える宣教課題をふまえて)
  - 3 書式 A4横書き フォントサイズ11ポイント
  - 3 履歴書(学歴、職歴、信仰歴、家庭状況等を記入すること)
  - 4 教職簿本(所属教会教職簿の写し)
  - 5 成年被後見人または被保佐人として登記されていないこと(証明書(法務局交付のもの。任用試験時に必要になります))
  - 6 所属教会牧師の推薦書
  - 7 神学校卒業(見込)証明書及び推薦書
  - 8 健康診断書(事務局に所定の用紙があります)
- II. 提出期限(期限厳守)
 

2016年9月16日(金)午後5時までに教会事務局へ提出すること
- III. 提出先
 

日本福音ルーテル教会常議員会長 立山浩浩 宛
- IV. 試験日及び試験内容
 

志願者本人に直接連絡します。